

与えられた資料・答案用紙から不明部分を推計していく。

(1) 【資料2】①より 前期繰越：¥1,200,000

(2) 次のとおり商品有高帳を作成できる。まだ、不明な部分は()としておく。なお、この段階で先入先出法・平均法の両者が考えられるが、()は前期繰越分と②分で分けてつけておく。

商品有高帳

日付	摘要	受入			払出			残高		
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額
①	前期繰越	1,500	800	1,200,000				1,500	800	1,200,000
②	仕入	()	()	4,500,000				1,500	800	1,200,000
								()	()	()
③	仕入戻し				200	()	()	1,500	800	1,200,000
								()	()	()
④	仕入値引						144,000	1,500	800	1,200,000
								()	()	()
⑤	仕入割戻						()	1,500	800	1,200,000
								()	()	()
⑥	売上				1,000	800	800,000	500	800	400,000
								()	()	()
⑧	売上				500	800	400,000			
					()	()	()	()	()	()
⑨	売上戻り	500	850	425,000				1,800	850	1,530,000
	次期繰越				1,800	850	1,530,000			
		7,000		6,125,000	7,000		6,125,000			

(3) 先入先出法の場合、付録に収録のとおりである。

(4) 平均法（総平均法・移動平均法のいずれも同じ）であると仮定する場合

(a) ⑨の売上戻りの単価：⑨の戻りは期末残高と同じ単価となるので、⑨の売上戻りの単価は⑧850である。

(b) 期末から逆算し、②の仕入数量・単価を求める。

商品有高帳

日付	摘要	受入			払出			残高		
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額
①	前期繰越	1,500	800	1,200,000				1,500	800	1,200,000
②	仕入	5,000	900	4,500,000				6,500	()	5,700,000
③	仕入戻し				200	()	()	6,300	()	()
④	仕入値引						144,000	6,300	()	()
⑤	仕入割戻						()	6,300	850	5,355,000
⑥	売上				1,000	850	850,000	5,300	850	4,505,000
⑧	売上				4,000	850	3,400,000	1,300	850	1,105,000
⑨	売上戻り	500	850	425,000				1,800	850	1,530,000
	次期繰越				1,800	850	1,530,000			
		7,000		6,125,000	7,000		6,125,000			

⑧の売上数量：【資料1】売上勘定⑨の金額（売上戻り）は¥800,000である。また、⑨の戻り数量は500個であり、販売単価が⑧1,600である。【資料1】売上勘定⑧の金額（掛売売上）が¥6,400,000であることから、⑧の売上数量は4,000個である。そして、平均法が採用されているとすれば、単価は⑧850である。

よって、⑥の⑧850の商品の残高は5,300個となる。これより上は取り急ぎ数量だけ記入していく。⑤は割戻、④は値引であるため数量は変化しない。よって、③の⑧850の商品の残高は6,300個のままである。そして、③で200個の戻しがあったため、②での仕入数量が5,000個となり、その単価は⑧900である。

なお、②の仕入後の平均単価は割り切れないため、空欄のままにしておく。

(c) 残りの()を上から下に向けて埋めていく。

商品有高帳

日付	摘要	受入			払出			残高		
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額
①	前期繰越	1,500	800	1,200,000				1,500	800	1,200,000
②	仕入	5,000	900	4,500,000				6,500	()	5,700,000
③	仕入戻し				200	900	180,000	6,300	()	5,520,000
④	仕入値引						144,000	6,300	()	5,376,000
⑤	仕入割戻						21,000	6,300	850	5,355,000
⑥	売上				1,000	850	850,000	5,300	850	4,505,000
⑧	売上				4,000	850	3,400,000	1,300	850	1,105,000
⑨	売上戻り	500	850	425,000				1,800	850	1,530,000
	次期繰越				1,800	850	1,530,000			

	7,000		6,125,000	7,000		6,125,000		
--	-------	--	-----------	-------	--	-----------	--	--

③は②の戻しであるため、@¥900の商品200個の戻しである。なお、ここでも単価は割り切れないため空欄のままにしておく。

⑤の割戻：④の残高は¥5,376,000、⑤の残高は¥5,355,000であり、差額が割戻の金額である。

以上より、勘定は次のとおりとなる

商 品			
① 前期繰越	1,200,000	③ 買掛金	180,000
② 買掛金	4,500,000	④ 買掛金	144,000
⑨ 売上原価	425,000	⑤ 買掛金	21,000
		⑥ 売上原価	850,000
		⑧ 売上原価	3,400,000
		⑨ 次期繰越	1,530,000
	<u>6,125,000</u>		<u>6,125,000</u>

売上原価			
⑥ 商 品	850,000	⑨ 商 品	425,000
⑧ 商 品	3,400,000	損 益	3,825,000
	<u>4,250,000</u>		<u>4,250,000</u>

売 上			
⑦ 売 掛 金	100,000	⑥ 売 掛 金	1,500,000
⑨ 売 掛 金	800,000	⑧ 売 掛 金	6,400,000
損 益	7,000,000		
	<u>7,900,000</u>		<u>7,900,000</u>

平均法にて計算した場合、解答が以下のとおり、赤字の数字となる。

ア	1,200,000	イ	売上原価	ウ	425,000
エ	180,000	オ	21,000	カ	850,000
キ	3,400,000	ク	商品	ケ	850,000
コ	3,400,000	サ	425,000	シ	100,000